

行政評価市民公開フォーラム～傍聴者アンケート結果～

○回収結果

- ・傍聴者数 130人（2日間の延べ人数）
- ・回答者数 46人（回収率35.4%）

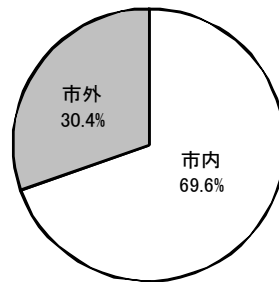
○集計結果

※質問により未回答の場合があるため、合計が異なります。

Q1 お住まいをお答えください。

（有効回答数 46）

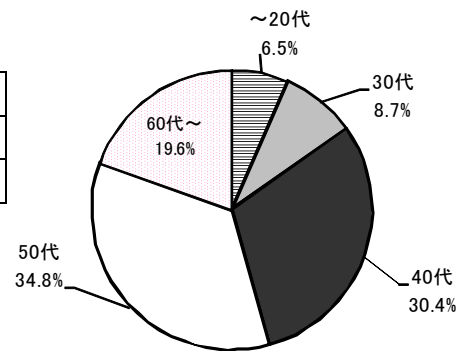
	市内	市外
人数	32人	14人
割合	69.6%	30.4%



Q2 年齢・性別をお答えください。

（有効回答数 46）

	～20代	30代	40代	50代	60代～
人数	3人	4人	14人	16人	9人
割合	6.5%	8.7%	30.4%	34.8%	19.6%



Q3 性別をお答えください。

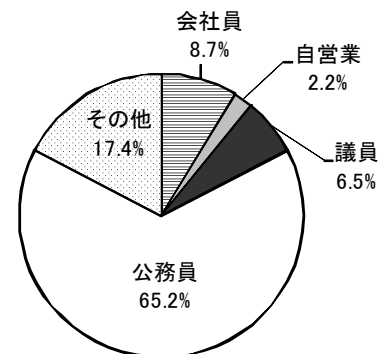
（有効回答数 46）

	男性	女性
人数	36人	10人
割合	78.3%	21.7%

Q4 ご職業等をお答えください。

（有効回答数 46）

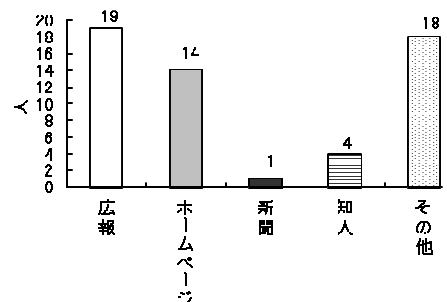
	会社員	自営業	議員	公務員	その他
人数	4人	1人	3人	30人	8人
割合	8.7%	2.2%	6.5%	65.2%	17.4%



Q5 本フォーラムを知ったきっかけは？

（複数回答あり、有効回答数 46）

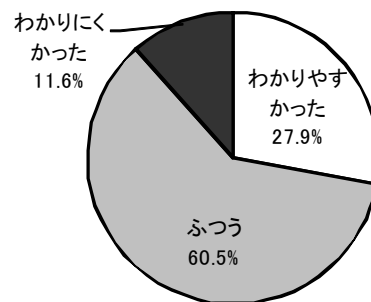
	広報	ホームページ	新聞	知人	その他
人数	19人	14人	1人	4人	18人
割合	41.3%	30.4%	2.2%	8.7%	39.1%



Q 6 配布された資料はわかりやすかったですか？

(有効回答数 43)

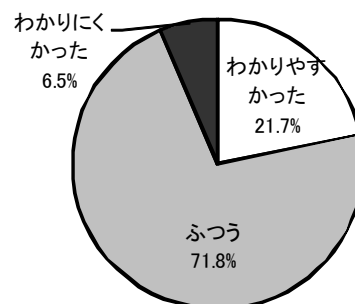
	わかりやす かった	ふつう	わかりにく かった
人数	12 人	26 人	5 人
割合	27.9%	60.5%	11.6%



Q 7 説明者（市職員）の説明・応答はわかりやすかったですか？

(有効回答数 46)

	わかりやす かった	ふつう	わかりにく かった
人数	10 人	33 人	3 人
割合	21.7%	71.8%	6.5%



【理由】

「わかりやすかった」と回答した人の意見

- ・専門用語をできるだけ使わないようにするなど工夫が見られたのと資料の作成も丁寧であった。
- ・それぞれの質問に対して、実施できる点、検討を要する点、現段階では難しい点を明確に回答されたと思う。

「ふつう」と回答した人の意見

- ・評価委員の質問に対し、一部回答が的を射ていないと感じる時もあったが、おおむね分かりました。
- ・丁寧に話されていた。
- ・質問と答弁がかみ合わない場面が見られた。
- ・一部、質問に対して的確な答えになっていなかった。
- ・一度に2問以上の質問があると、返答のピントがだんだんずれてくる印象があった。
- ・評価委員の質問に的確さに欠ける点もある。
- ・時間が短く、どうしても大雑把になる。
- ・数的説明が不足していた。
- ・パワーポイントがあまり生かされていませんでした。また数字などは図にして分かりやすい表現をするとよいのではないでしょうか。
- ・質問に対して、適切に回答されていた。
- ・想定質問を色々な方面から考えておいた方が回答もスムーズ。
- ・説明自体はわかりやすかったのですが、数字を細かく並べられるとついていけない気がしました。

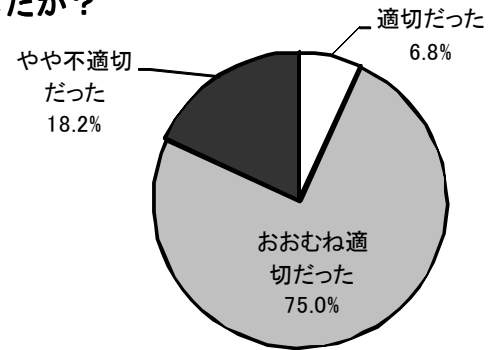
「わかりにくかった」と回答した人の意見

- ・協働事業推進にだけに答えさせていただきますと、職員自身が協働推進とは何ぞやを十分理解していないような気がする。
- ・事業番号 13 に関しては、評価委員がポイントを捉えた質問をしているが、データをもとにした適切な回答が全くできていない。

Q 8 評価委員の質問・意見についてどう思われましたか？

(有効回答数 44)

	適切 だった	おおむね 適切だった	やや不適 切だった	不適切 だった
人数	3 人	33 人	8 人	0 人
割合	6.8%	75.0%	18.2%	0.0%



【理由】

「適切だった」と回答した人の意見

- ・市民の素朴な疑問を市職員へ聞いていただけた。

「おおむね適切だった」と回答した人の意見

- ・市民の代表＝民間の考え方と意識した意見が多い。
- ・市の事業に対する偏見を持っている人がいる。
- ・内容を十分に把握せずに質問をしている方も見受けられた。
- ・よく勉強されている。
- ・新たな切り口及び提案意見が多く、適切であった。
- ・私にない視点からの指摘もあり、勉強になりました。
- ・情報が少ない中、的を射た内容であった。
- ・マスコミの意見に大きく左右されているのではないかと感じた。

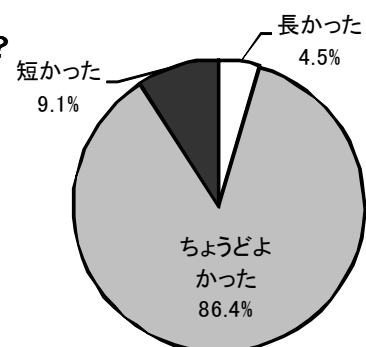
「やや不適切だった」と回答した人の意見

- ・評価すべき内容から逸れた質問や見解を求めない意見があった。
- ・評価委員が事業の内容を勉強後に参加されると良い。
- ・事業の目的や課題に対する取組みに対する追求で、求める回答と説明員の説明とのズレが多く、これを不適切というには適当ではないが、事前の調査を要するものが見られた。(一部は事前に要旨の通知があればなお良い)
- ・事業評価の視点からズレた内容であった。

Q 9 1事業の時間配分についてどう思われましたか？

(有効回答数 44)

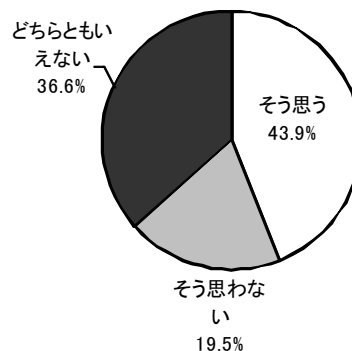
	長かった	ちょうど よかった	短かった
人数	2 人	38 人	4 人
割合	4.5%	86.4%	9.1%



Q10 今後も行政評価市民公開フォーラムを継続して実施していくべきだと思いますか？

(有効回答数 41)

	そう思う	そう思わない	どちらとも いえない
人数	18人	8人	15人
割合	43.9%	19.5%	36.6%



● 各事業の内容や評価結果に対するご意見・ご感想

【事業番号2 小牧市民まつり開催委託事業】

- ・対象事業と関係ない質問や意見が目立ったが、コーディネーターは、もっと軌道修正しながら進めるべきだと思う。
- ・答弁は良かったが、評価委員の質問に思い違いがあるので、その場で訂正する。

【事業番号3 納税推進事業】

- ・評価委員の意見の中で、今後、納税者となる子ども達への税（納税）教育の実施というのがあったが、非常に重要だと感じました。
- ・数字しか表に出ていないため、その内側にある問題点は浮かび上がってこない。評価員も一つの事例を出し、突っ込んだ議論をすればよいが、一般論に終始。制度に沿った評価になり得ない。

【事業番号5 市民相談事業】

- ・市や行政に対する苦情や要望等は積極的に受けるべきだが、市民相談は市民に対するサービスであり、今の経費の範囲内で進めればよい。
- ・相談員の勤務時間の問題もあるが、駅前のセンターも活用。

【事業番号6 再資源化啓発事業】

- ・ガラス細工などの工作自体はあくまでもリサイクルプラザに人を呼ぶための手段であり、これ自体の必要性が議論されており、市側の説明がまずいと思った。

【事業番号8 民間木造住宅耐震促進事業】

- ・必要な事業だと思うが、市の説明に熱意が感じられない。もっと自信を持って市民にアピールしてほしかった。

【事業番号9 いじめ・不登校対策事業】

- ・説明していることがレジメのどこを読んでいるのかが分かりにくい。親の教育、先生、教員、カウンセラー、教育委員会など全体をもう一度見直す必要があるのではないか。いじめのデータは広報に掲載すべきだ。行政が隠したり、警察の導入を恐れたりしない。悪質

ないじめは徹底的にやるべきだ。警察は全面に出るべきだ。このフォーラムは本当に真剣にこうしたことを考えているのか大変疑問。

- ・教育論がなされただけで、事業についての論議がなされていないと感じた。

【事業番号10 介護予防支援事業】

- ・事業そのもの、介護保険制度が理解されていない。かみ合わない議論。
- ・国制度との狭間をうめる制度であり、国基準とのクライアントの実状を見定めながら、独自の基準で事業を実施し、少しでも予防効果をあげられればと思います。個人的には、予防について、市レベルで実施できる効果測定はなかなかないのではと思います。実施の根拠は、クライアントの要望と医学的統計かなと思います。
- ・ひとり暮らし高齢者数について、民生委員の実態調査と戸籍上でのデータに大きな差があるが、実態調査が必ずしも100%カバーしているとは判断できないので、今後本当の実態を把握する必要がある。事業名が「介護予防支援事業」でいいのかなと思う。もっとシンプルにひとり暮らし高齢者の安否確認を含めた食の支援事業にした方がよいと思う。(食の自立支援) というのも事業実態を表していない。
- ・要介護認定と未認定の隙間を埋める事業は価値があると思う。ただし、行政負担の割合は継続して検討する必要がある。

【事業番号12 子ども医療扶助事業】

- ・医療費抑制のために適正受診を勧奨せよという意見は今の制度で市に求めるのは困難だと思う。親への教育は別の形で考えるべきだろう。分析は推測でなく、科学的に行うべきだ。
- ・パワーポイントの使い方が見やすく、分かりやすかったです。

【事業番号13 スポーツセンター運営委託事業】

- ・外部評価以前の問題として、事業担当課がもっと事業内容をきちんと把握し、市民に分かりやすく説明できるようにする必要がある。
- ・他のスポーツ関連事業と統合し、B/Cを行い、内容(プログラム、運営方法)を検討すべき。
- ・現状維持。事業自体の継続は望ましいが、取組みがやや画一的で展望が開けていない感じを受けた。

【事業番号15 緊急通報等事業】

- ・緊急時以外の相談業務もあることをもっと分かりやすく説明すべきと思った。事業の中身と名称がずれていると思う。

● その他、本フォーラムについてのご意見・ご感想

- ・委員に対して、評価対象事業のレクチャーをもっとすべきと思う。
- ・結果として現状維持に落ち着いているので、市の事業の進め方はおおむね適正だと感じた。市民判定員の発言する場があってもよかった。
- ・昨年に続き、2回目ということで、傍聴者が少ないように感じました。開催時期等の検討余地を感じました。
- ・予算の中事業単位で外部評価としているが、外部評価用にもっと分かりやすいくくりで事業を出すとはいいのではないかと思う。ある事業の部分的な取組みのみを評価することにな

るものがあるかもしれません。

- ・市民に事業を知ってもらうための一つの手段であるとは思いますが、他の市においても、出された結果がうまく活用できておらず、また出された結果の妥当性の判断が難しいと思われる。
- ・議会が同様の役割を果たしており、このフォーラムは必要ないと思います。
- ・委員の質問、職員の回答という形で進められていますが、委員がズレた考えを持っている場合もあるので、職員側から委員に対して質問する機会を設けるなど、両方で議論する場にしたほうがよいと思います。
- ・基本的に、施策の内容を議論するのに、事業仕分けのようなスタイルは適切でないと思います。縮小の決定だけあって、代替案の提案が出されるわけではないので、あまり意味がないと思います。
- ・コーディネーターがいたので、質問をまとめたり、場の流れを戻したりと大変分かりやすいものにしていただいた。
- ・市政を良くしていくために必要。頑張ってください。
- ・事業仕分けで委員、市民判定員が参加することがすでに協働推進ではないか。
- ・評価委員に女性がいないのは片手落ちである。女性は介護や教育、子育てなどの当事者で現場を知っている。評価委員の性別・年齢が偏っている。
- ・全体として、現状を知らない評価委員の個人的な主観による発言が多く、制度の拡充、縮小、廃止を判定できる深い議論になっていない。これはもともと無理なことである。時間と金、エネルギーの消費である。
- ・説明員が評価委員の質問に的確に回答できていないことが多々見受けられた。業績等の分析が不十分である。
- ・市民判定員の意見・質問を最後のほうで聞いてもよいのでは。
- ・傍聴する市民が少ないのに驚きました。小牧市における外部評価については、抜本的に再検討する必要があります。
- ・傍聴者が少ないのは、外部評価の目的とその結果が不明確なことと思います。根本的には市がやりたいこと（パフォーマンスを含めて）と市民がやってほしいことがズレているのだと思います。
- ・コーディネーターの力量に会場で差がある。
- ・コーディネーターの方の話しぶりがよく分からない。
- ・公開という名がついているが、実態はさみしいものです。市民の意識が低いからなのか。そもそも公開する必要がないのか考えてしまいました。
- ・初めて参加させていただきましたが、非常に勉強になりました。より多くの市民の方が参加できれば、より意義のあるものになると思います。
- ・市民は現状にそれほど不満がないのではないか。このため、フォーラムをやっても聞きこまないのでは。
- ・市民判定員の選定について高齢者が多いように思う。
- ・市民が市政に参加する場として、今後も続けていくべきだと思います。
- ・行政に対する市民の関心がいかに薄いかがよく分かった。
- ・1つの事業に含まれる内容が多く、評価委員にそれを理解してもらうには説明時間が10分では少ないと思う。